

2023年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 奥田 門田 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。 色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマテラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマテラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的な内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会） アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、 精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション 色の三属性①	色彩検定について、有彩色と無彩色					
第2回	色の三属性②	色相・明度・彩度とは					
第3回	PCCS①	色相環作成、等色相面、色立体					
第4回	PCCS②	トーンとは					
第5回	PCCS③	トーンのイメージ					
第6回	色彩調和①	色相配色					
第7回	色彩調和②	トーン配色					
第8回	色彩調和③	アクセントカラー、セパレーション、グラデーション					
第9回	色の心理的効果①	色の寒暖、進出後退、膨張収縮、軽重など					
第10回	色の心理的効果②	色の連想と象徴、色相別心理効果					
第11回	色の視覚的効果①	対比					
第12回	色の視覚的効果②	同化、色陰現象など					
第13回	色名	基本色名、系統色名、慣用色名など					
第14回	配色イメージ	色の三属性と配色イメージ					
第15回	光と色①	光とは、分光分布、照明					
第16回	光と色②	反射、透過、分光反射率曲線					
第17回	光と色③	屈折、干渉、回折、散乱					
第18回	目のしくみ	網膜、視細胞					
第19回	混色①	加法混色、加法混色の三原色					
第20回	混色②	減法混色、減法混色の三原色					
第21回	混色③	混色を利用した身近な例					
第22回	ファッショント色	ファッショント色のかかわり					

2023年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 奥田 門田 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。 色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマテラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマテラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的な内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会） アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、 精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第23回	インテリアと色	インテリアにおける色					
第24回	検定直前対策①	過去問題を使った直前対策、Q&A					
第25回	検定直前対策②	過去問題を使った直前対策、Q&A					
第26回	色相環作成	雑誌やチラシなどの写真を使い、色相環を作成する					
第27回	コラージュ作成①	配色イメージの知識を使ってファッショニやメイクなどのコラージュ作成					
第28回	コラージュ作成②	第27回の続き					
第29回	コラージュ発表	第27回、28回に作成したコラージュを発表					
第30回	定期試験	定期試験					
第31回	ハンドトリートメントとは	ハンドトリートメントの特徴や目的 禁忌 タオルセッティング					
第32回	実習	手技の基本を知る					
第33回	相モデル	トリートメント（前半）手技 確認 練習					
第34回	相モデル	トリートメントの練習（前半）					
第35回	相モデル	トリートメント（後半）手技 確認 練習					
第36回	相モデル	トリートメントの練習（後半）					
第37回	相モデル	トリートメント 15分通して					
第38回	相モデル	トリートメント 15分通して（仕上げ）					
第39回	相モデル	15分通して練習 各自確認					
第40回	試験	相モデル 両手15分 前半後半に分かれて一斉に行う					
第41回	精油の扱い方を知る	精油の使用方法・注意事項・アロマテラピーでの禁忌					
第42回		実習：フェイシャルスチーム・バスソルト					
第43回	精油の生い立ちを知る	精油の抽出部位・精油の抽出方法					
第44回		実習：植物性シャンプー					

2023年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 奥田 門田 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。 色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマテラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマテラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的な内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会） アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、 精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第45回	アロマリラクセーション1	植物性オイルの種類と特徴・オイルトリートメントの効果					
第46回		実習：トリートメント用オイル（ボディ）					
第47回	自然の香りでスキンケア1	ブレンドする時の精油の濃度・数滴の計算の仕方					
第48回		実習：ローション					
第49回	自然の香りでスキンケア2	人間の脳と嗅覚					
第50回		実習：クレイパック					
第51回	自然の香りでスキンケア3	フェイストリートメント 顔と首の筋肉・トリートメントの方法					
第52回		実習：トリートメント用オイル（フェイス）					
第53回	中世ヨーロッパ 魔法の水	香り歴史					
第54回		実習：ハンガリーウォーター					
第55回	香りでお口のエチケット1	精油の安全性					
第56回		実習：マウスウォッシュ					
第57回	しなやかな髪をあなたに	アロマに役立つ解剖・生理学 呼吸器とアロマ					
第58回		実習：ヘアパック					
第59回	アロマリラクセーション2	アロマに役立つ解剖・生理学 循環器とオイルトリートメント					
第60回		実習：オイルトリートメント練習					
第61回	清潔な安らぎをお部屋に	ルームフレグランスと香りの心理					
第62回		実習：エアーフレッシュナー					
第63回	大切なシーンを彩るために	パフュームの知識・香りのノート					
第64回		実習：オリジナルパフューム					
第65回	香りでお口のエチケット2	精油に含まれている成分					
第66回		実習：歯磨き粉					

2023年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 奥田 門田 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。 色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマテラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマテラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的な内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会） アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、 精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第67回		復習	
第68回	自然の香りでスキンケア4	実習：クリーム	
第69回		アロマテラピーに関する法令 後期試験	
第70回		実習：ハーフティ	
第71回			
第72回			
第73回			
第74回			
第75回			
第76回			
第77回			
第78回			
第79回			
第80回			
第81回			
第82回			
第83回			
第84回			
第85回			
第86回			
第87回			
第88回			
第89回			
第90回			
第91回			
第92回			
第93回			
第94回			
第95回			
第96回			
第97回			
第98回			
第99回			
第100回			
第101回			
第102回			
第103回			
第104回			
第105回			

ラップブロー
テンションブロー

サスーンヘアカットコンテスト1次予選に向けての
ブロー技術習得

ヘアアレンジ

校外イベントで使用できるヘアアレンジ技術の習得